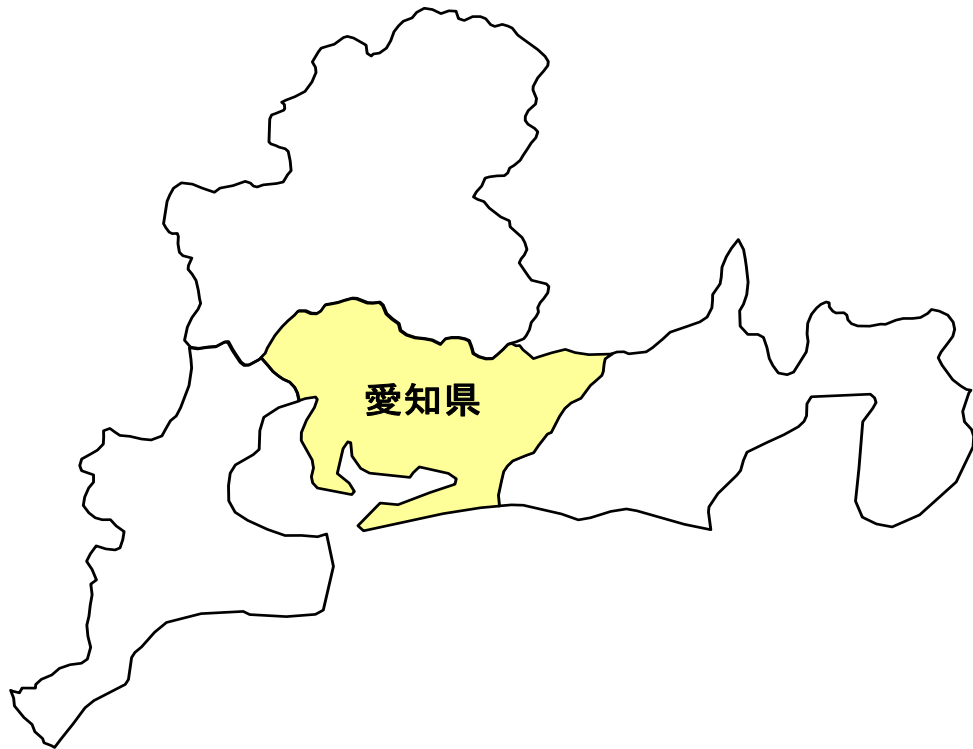


最近の愛知県内経済情勢について

(県内経済情勢報告)



令和6年2月


財務省 東海財務局

1. 総論

愛知県内経済は、一部に弱さがみられるものの、回復している。

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、回復が続くことが期待される。ただし、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。さらに、令和6年能登半島地震の経済に与える影響に十分留意する必要がある。

【総括判断】

項目	前回（5年10月判断）	今回（6年1月判断）	前回との比較
総括判断	一部に弱さがみられるものの、回復している	一部に弱さがみられるものの、回復している	

（注）6年1月判断は、前回5年10月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、持ち直している。生産活動は、一部に弱さがみられるものの、自動車関連を中心に回復している。雇用情勢は、緩やかに改善している。

【各項目の判断】

項目	前回（5年10月判断）	今回（6年1月判断）
個人消費	持ち直している	持ち直している
生産活動	一部に弱さがみられるものの、自動車関連を中心に回復している	一部に弱さがみられるものの、自動車関連を中心に回復している
雇用情勢	企業側の人手不足感が強まるなか、雇用情勢は、緩やかに改善している	企業側の人手不足感が強まっているなか、雇用情勢は、緩やかに改善している

2. 各論

最近の愛知県内経済情勢における各項目の動向は、以下のとおりとなっている。

（主要項目）

個人消費は、持ち直している

スーパー販売は、緩やかに持ち直しつつある。コンビニエンスストア販売は、持ち直しのテンポが緩やかになっている。ドラッグストア販売は、好調に推移している。百貨店販売は、

緩やかに回復している。家電大型専門店販売は、弱い動きとなっている。ホームセンター販売は、弱い動きとなっている。乗用車販売は、持ち直している。

生産活動は、一部に弱さがみられるものの、自動車関連を中心に回復している

自動車関連は、回復している。金属工作機械は、弱い動きとなっている。電気機械は、自動車向けを中心に、緩やかに回復している。普通鋼は、緩やかに持ち直している。特殊鋼は、緩やかに持ち直している。

企業側の人手不足感が強まっているなか、雇用情勢は、緩やかに改善している

有効求人倍率はおおむね横ばいで推移している。完全失業率は低水準である。法人企業景気予測調査（5年10-12月期〈調査時点・5年11月15日〉）の従業員数判断BSIでみると、いずれの規模においても、また、製造業・非製造業いずれにおいても「不足気味」超幅が拡大している。

（その他の項目）

住宅建設 — 前年を下回っている。

設備投資 — 5年度は増加見込み。

公共事業 — 前年を下回っている。

輸出入(円ベース) — 輸出は緩やかに増加している。輸入は前年を下回っている。

企業収益 — 5年度は減益見込み。

企業の景況感 — 全産業の現状判断（5年10-12月期）は、「上昇」超となっている。

倒産 — 企業倒産件数は前年を上回っている。

3. 県内景気に関する地域の声

- 海外ブランド衣料などの高額品が牽引し、売上は引き続き増加している。客数も前年を上回っており、催事等には週末を中心に多くの来場者が訪れている。免税売上高については、インバウンドが回復してきていることに加えて円安効果もあり、増加傾向となっている。

（百貨店）

- 半導体不足による影響は解消し、受注残解消に向けて操業度を上げており生産は改善傾向。

（輸送機械）

- 完成車メーカーからの受注に合わせ、自動車向けはフル生産に近づいている。住宅向けは、需要低迷により低水準の生産が続いている。

（鉄鋼）

- コロナ明けで他業種でも人手不足が深刻化するなか、比較的賃金水準の低い小売業自体が選ばれにくくなっている。当社でも採用難の状況に危機感があるため、賃上げや人事制度の見直しなどを進めていく。

（小売）

1. 本調査結果に関する問い合わせは下記へお願いします。

財務省東海財務局 経済調査課

TEL(052)951-2632(ダイヤルイン)

2. 愛知県内経済情勢報告は下記ホームページでもご覧頂けます。

<https://ifb.mof.go.jp/tokai/>